

はじめに

認知症は「正常に発達した知的機能が何らかの原因で低下し、日常生活や社会生活に支障をきたす状態」を指します。認知症は誰にでも起こりうる病気であり、社会一体となった対応が何よりも重要とされているが、実際には患者さんやご家族が自ら病院まで出向いてくれることを待つしかなく、それが治療の遅れにつながるひとつの要因になっています。また、認知症の症状の現れ方は人によって異なるため、それぞれの方に必要な対策をとることが大切です。

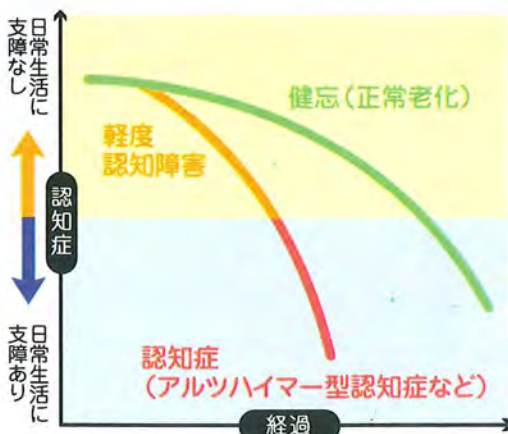
年のせいか、認知症のせいか。この違いを見抜くには…

「もの忘れ」は誰にでも現れる老化現象のひとつです。もの忘れを本人が自覚しており何らかの拍子に思い出したりする場合は、心配ないでしょう。自分が忘れていくことへの自覚がない、新しいことがまったく覚えられない、日時や場所がわからなくなるといった場合は、「認知症」かもしれません。

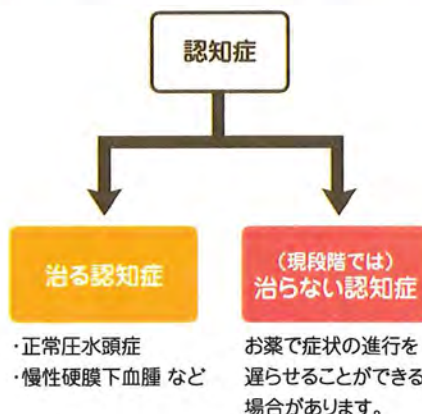
認知症のもの忘れ
体験すべてを
忘れる

ご飯を食べたにもかかわらず、食べたこと自体忘れて、どうしても思い出せない。

認知症と健忘の違い



認知症のタイプ



不二越病院 健診センター
新家 悦朗

伊藤文一 他:レシビ2010年夏号, Vol.9 No.3 p57, 樹南山堂, 2010, 一部改変